

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされており、このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	慢性心不全患者における非造影 MRI による心機能と予後の検討
当院の研究責任者 (所 属)	田中 新一郎（循環器内科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当ありません
本 研 究 の 目 的	現在、わが国において慢性心不全が増加しております。心不全は早期に正確な病状評価を行い、早期介入することは重要です。心臓の検査である心臓MRI検査はおもに心臓の機能の測定でき、心不全の診断に用いられています。この検査の特徴は造影剤をつかわなくとも、心臓の機能を測定でき、また心エコー図検査・核医学検査などのほかの検査とくらべ、誤差が小さいといわれています。さらに、狭心症など冠動脈狭窄のスクリーニングも可能です。本研究では心不全の兆候の既往のある方々の心臓MRI検査の指標を調べるのが目的です。
調査データ該当期間	2022年4月1日から2024年7月31日までの期間に当院にて非造影心臓MRIを行った心不全徴候の既往がある方。
研究の方法(使用する 資料等)	カルテ情報から、年齢、性別、合併症、既往歴、現病歴、血液検査、心臓 MRI のほか、心臓の諸検査（心エコー図検査、安静心筋血流シンチグラフィ検査、心電図、レントゲンなど）結果についての情報を取得し解析します。
試料/情報の他の機関 への提供	該当ありません
個人情報の取扱い	得られた情報はすべて匿名として扱わせていただきます。年齢・性別の公開は可能性としてありますが、個人に不利益や危険性が及ぶことはございません。
本研究の資金源(利益 相反)	利益相反はありません
お 問 い 合 わ せ 先	研究代表者 田中新一郎（循環器内科教授） 診療部長 瀬川知則（循環器内科教授） TEL 058-253-8001
備 考	特記すべきことはありません